

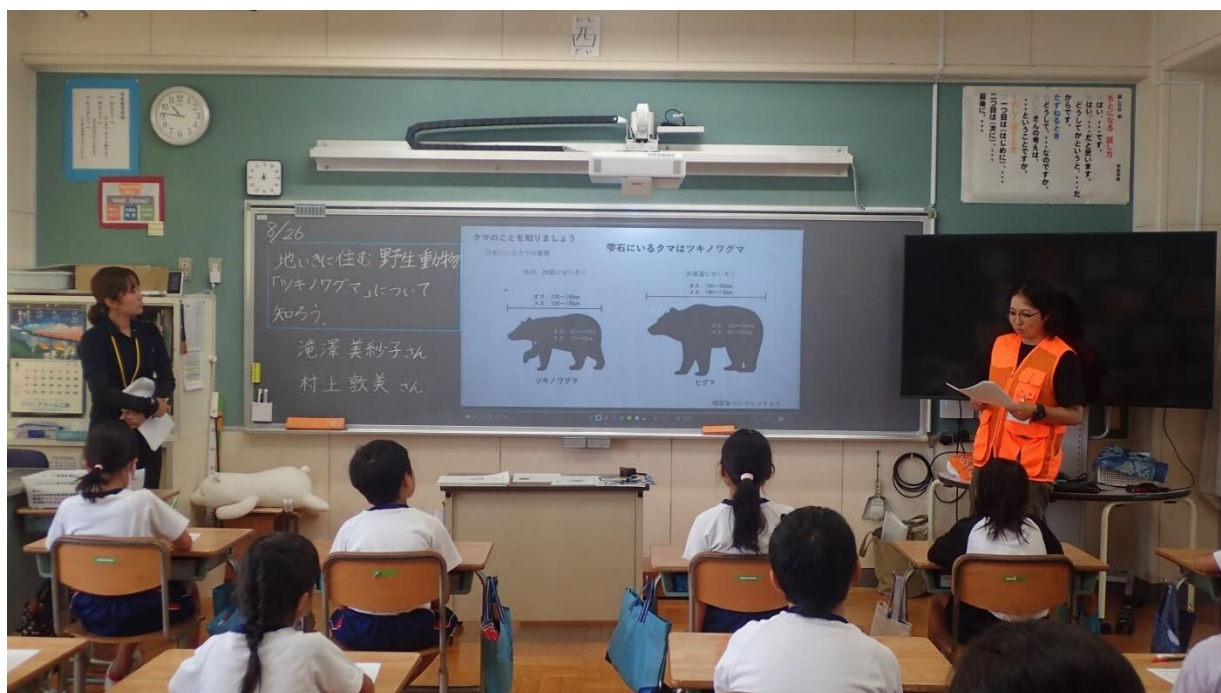
令和7年度

雫石町コミュニティ・スクール

実践報告集

ふるさと雫石への誇りと愛着を育てる教育

- 学校運営協議会
- 地域学校協働活動（地域と学校がWIN&WINの活動）
- 地域学校連携活動（地域の学校支援・学校の地域支援）



(西山小学校ツキノワグマ学習会)

令和8年3月31日

雫石町教育委員会

目 次

雫石型コミュニティ・スクールの推進について・・・・・・・・・・1

令和7年度雫石町コミュニティ・スクール推進事業・・・・・・・・・・2～3

令和7年度雫石町コミュニティ・スクール意見交流会・・・・・・・・・・4～5

【令和7年度コミュニティ・スクールの取組】

① 雫石町立雫石小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・6～10

② 雫石町立七ツ森小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・11～18

③ 雫石町立西山小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・19～25

④ 雫石町立御明神小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・26～30

⑤ 雫石町立御所小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・31～35

⑥ 雫石町立雫石中学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・36～44

「学校運営協議会」と「地域学校協働活動」の一体的な取り組みによる 雫石型コミュニティ・スクールの推進

雫石町では、令和3年度4月より、「開かれた学校」づくりを目指す学校評議員制度から「地域とともにある学校」づくりを目指す学校運営協議会制度に移行し本年度5年目となった。

各学校に学校運営協議会を設置し、学校運営についての話し合いを行った。また、地域と学校がWIN&WINの関係を目指す地域学校協働活動に取り組んでいる。地域と学校が一体となってコミュニティ・スクールを推進している。

現在、本町では、「ふるさと雫石への誇りと愛着を育てる教育」の実現に向けて教育諸政策を展開している。これは、現在の本町児童生徒の特色である「地域への愛着の高さ」や「地域活動への参加意欲」、あるいは「規範意識の高さ」といった「良さ・強み」を一層生かしながら、数十年後に地域で貢献できる児童生徒を育成しようとするものであり、「雫石型コミュニティ・スクール」は子どもたちの良き原体験としても、大きく役立つとともに具体が見える地域活動を実感し、地域への意識や愛着が一層高まっている。

今回、雫石町内6校の小中学校の学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の内容や地域学校協働活動・特色ある活動についてまとめた。



(地域の富士施設を訪問演奏する七ツ森小金管バンド)

令和7年度雫石町コミュニティ・スクール推進事業

1. 事業の目的

「学校運営協議会」と「地域学校協働活動」の一体的な取組みによる雫石型コミュニティ・スクールの推進。

2. 学校運営協議会制度

令和3年度より、「開かれた学校づくりを目指す学校評議委員会制度」から「地域とともにある学校づくりを目指す、学校運営協議会制度」に移行した。

各学校運営協議会において学校運営協議会を設置し、学校運営に参画していただける地域の方々を委員として委嘱し、地域と一体となってコミュニティ・スクールを進める、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5に規定されている下記のことについて協議を行う。

- ① 校長が作成する学校運営の基本方針を承認すること
- ② 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べるができる
- ③ 教職員の任用に関して、教育委員会で定める事項について、教育委員会に意見を述べるができる。

3. 学校運営協議会

(1) 主な内容

第1回学校運営協議会（委員委嘱・学校運営方針承認・年間計画・地域学校協働活動の計画）

第2回学校運営協議会（上半期の学校評価・コミュニティ・スクール研修・地域学校協働活動）

第3回学校運営協議会（次年度学校運営方針承認・学校評価・次年度計画・地域学校協働活動）

(2) 実施日

学校名	第1回学校運営協議会	第2回学校運営協議会	第3回学校運営協議会
雫石小学校	6月6日 15:00～	11月25日 15:00～	3月3日 15:00～
七ツ森小学校	6月8日 10:00～	10月20日 10:00～	2月24日 10:00～
西山小学校	6月11日 13:50～	11月20日 15:40～	2月24日 13:45～
御明神小学校	6月13日 15:00～	10月8日 15:00～	2月13日 13:30～
御所小学校	6月12日 18:00～	10月16日 18:00～	2月20日 13:10～
雫石中学校	6月5日 14:00～	12月3日 14:00～	2月17日 14:00～

4. 地域学校協働活動

地域と学校が熟議を通して目標を共有しながら、従来の地域による学校支援だけでなく、地域にも学校にもメリットがあり、WIN & WINの関係の「地域とともにある学校」を目指す。

そのために、教育委員会内に地域学校協働活動推進員1名を配置し、社会教育指導員とともに地域と学校の協働を推進する。

5. 雫石町コミュニティ・スクール (CS) 成果と課題

(1) 成果

- ① 学校運営協議会を各学校で年間 3 回実施した。委員による学校経営重点の承認や学校経営の評価を行った。学校課題解決に向けた話し合いも行われた学校もあり、各委員からの意見も活発になってきた。地域学校協働活動についての話し合いも増えている。
- ② 地域学校協働活動を目指した活動を実施している。
- ③ 地域連携や地域の学校支援がより活発になった。
- ④ 地域住民が学校に足を運ぶ機会が多くなり、地域と学校の交流が活発になってきた。
- ⑤ 児童・生徒は地域に積極的に出て学習するなど、地域住民と交流する機会が多くなった。
- ⑥ 地域住民による「熟議」を開催して目標共有している CS もあった。
- ⑦ 地域と学校で協働することにより教員の働き方改革に寄与した CS もある。

(2) 課題

- ① 学校運営協議会での話し合いや地域学校協働活動を充実させるためにも委員や教職員の研修の充実。
- ② 地域住民と学校の「熟議」で、広く地域住民と自由に話し合い、目標共有をしたい。
- ③ 地域住民と学校の距離感を縮める（学校に訪問しやすい環境をつくる）。
- ④ 地域と学校の関係は地域の学校支援が多く、そこから地域学校協働活動へと発展させたい。
- ⑤ 町内でのコミュニティ・スクールの認知度が低い。

(3) 今後の取り組み

- ① 学校運営協議会委員や教職員対象のコミュニティ・スクール研修会の充実。
- ② 各地区の地域運営組織や公民館との連携・協働を推進する。
- ③ 地域の各団体や企業等の連携・協働を推進する。
- ④ 地域と学校が協働して WIN&WIN の関係性のある地域学校協働活動を目指す。
- ⑤ 地域学校協働活動を推進することにより、コミュニティ・スクールの活動を周知する。
- ⑥ 教師の働き方改革を意識した活動を展開する。



(御明神小学校・道の駅ポスター作成)



(西山小まつり・よしゃれ披露)

令和7年度

雫石町コミュニティ・スクール意見交流会開催

2月27日(金)、中央公民館にて雫石町コミュニティ・スクール意見交流会を開催し、各学校が実践発表をして意見交流を行いました。

今年度は地域の方にも呼びかけて「熟議」を行った学校も増え、児童生徒や地域への影響や、先生方に負担をかけない実践の仕方などの発表がありました。

秋田大学講師の皆川雅仁みながわまさひとさんに講評をいただき、コミュニティ・スクールとして地域と一緒に子どもたちを育てることが、やがて学校を核とした地域づくりにも繋がっていくことを教えていただきました。



校長先生と週4ペースで連絡を取りながら話を詰めていった。計画的ではない(笑)

【雫石町コミュニティ・スクール意見交流会アンケート】

◎ 学校と地域が連携するメリットはどのようなことだと感じていますか。

- ・マンパワーが増えることだと思います。また互いに未知の分野の知識を知ることができることだと思います。
- ・地域づくり活動は、学校との連携が重要です。
- ・ひとり暮らしでも、家族が地域にいるようできみしくない。子どもたちがかわいいなあといつも感じられる。
- ・子供を見守る。子供が見守る。子供、地域双方が見守れる事。
- ・学校のオープンスタイルを広げられると感じる。住民とのコミュニケーションが子ども達の勉強になる。
- ・人はひとりでは生きて行けず、成長ありません。時代的に難しい内容(AI、SNS)プライドなしで、わからない事は教わりたい。コミュニティ・スクールの内容を周知したい。
- ・学校だけでは出来ないことを地域の人と協力し合って、やりたいことが広がる。
- ・地域に住んでいても、子どものことを知らなかったりしていることが多いと聞きますが、学校を中心に子どもたちが身近な地域に関心をもって活動するとやっぱり地域もにぎやかになると感じています。
- ・大人と子供の間コミュニケーションが生まれることにより、地域の一体化が生まれると思います。
- ・「社会生活が地域に根差したものである」ということは学校だけにいると子供が理解しにくいのではないかと思います。それを体感するための重要な機会ではないかと考えます。
- ・人口減少していく中で、地域が元気を保つことができる。
- ・勉強以外の知識や、体験が行える。
- ・広い視野で物事を考える力を持つと思う。
- ・まちづくり…雫石町の将来につながる事だと思います。
- ・かつて地域の活性化は、公民館中心で進められていた時代がありましたが、今の様々な現状を考えると、地域の活性化を進める上で、切り離せないのが学校です。たとえば、学校で何か企画すれば、子と親が参加出来ます。そこに、地域が加わることで世代を超えたつながりが生まれます。地域で何か企画する際にも、子供たちと親たちを巻き込むには、学校への働きかけが有効です。そして、地域が活性化すれば、子供たちの未来も拓けます。学校を核にした地域活性化が必要です。
- ・地域を「みんな」でつくる。地域の力を強くしていけること。
- ・お互いが元気になることと思います。一緒に取り組んで良かったという実感がもてることと思います。かつては学校の教育活動の支援という認識が強かったですが、今は共働、協働を心がけると感じています。
- ・学校の困りごとを地域で支える。地域の困りごとを学校で支える。

◎ 雫石の児童生徒にどんな力をつけて欲しい、つけてあげたいと思いますか。

- ・地域の思いを知り、地域に感謝する心をもたせたいと思います。
- ・地域のなりたち、歴史と現状と将来を考える力。
- ・自分の強みをいかして、挑戦する力をつけてほしい。ポジティブに脳内変換できる力をつけてほしい。
- ・地域貢献できる児童になってほしい。
- ・やさしさと忍耐力を…
- ・自分で考え、行動するまでやり越える子供。大人も、子供の考えを知ろうとしなければ？
- ・雫石ってすばらしい、というような基盤を身につけてほしい。そこが出来ていると、チャレンジできる子になっていく。
- ・(会議でもでていたのですが)、自然豊かな土地で「生きる力」を存分に身につけて欲しいです。
- ・教科書にはない、人としての倫理観や思いやりを持った大人になってほしいです。
- ・学力だけではなく、それを活かして社会の中で生きていくような力が身につけばと思います。
- ・基礎学力、生活していく力。
- ・児童生徒と地域の、お互い様な関係を持てる人脈
- ・子どもたちに地域と交流できる時間を作ってあげる努力をしたい。
- ・地域の素晴らしさを知り、地域を誇りに思い、地域を創る人に育って欲しいと思います。
- ・生きる力。郷土愛。
- ・地域を愛し、地域のために自分に何が出来るかを考える力をつけてあげたいと思います。
- ・場に合わせて考え、行動できる。自然を大切にする。

◎ 本日の意見交流会やコミュニティ・スクールに対するご意見・ご提案があれば、自由にお書きください。(地域のどんなことを伝えたいかなど☆)

- ・これまでの流れと違う考えの講師の方のお話を聞いてみたいです。(できるのならばですが…)
- ・地域に学校からの発信が必要ですね！
- ・各学校がそれぞれ特徴ある取組をしていて、とても面白かったです。雫石の学校の取組を誇りに思いました。これから更に良く、楽しい学校になるように期待しています。
- ・小さい町(雫石町)などの良さがわかりかけた？
- ・初めて参加しました。雫石うまれ、雫石育ちです。雫石の子ども達にとって良くも悪くも議論する場って大切なのですね。講師の先生も熱い！ザワザワしました。地域の子どもが密になるってすごいですね。
- ・地域それぞれの取組があることがわかりました。少子化、高齢化と暗い話題が多いですが、子ども達の地域から学ぶ環境は維持していきたいな一と思います。御明神みらいづくり会議も頑張っていこうと思います。
- ・地域の歴史を語り継いでいけるよう願います。
- ・学校運営協議会やコミュニティ・スクールのことについて正直あまりよく理解出来ていませんでしたが、本日のお話を聞き、よく分かったような気がします。どうもありがとうございました。
- ・他校の「熟議」のスタイルを聞いて勉強になりました。私たちの学校も、もっと地域住民を巻き込んで開催したら盛り上がるような気がしましたし、そうしたいです。
- ・熟議が必要だということを何度もお聞きしていますが、未だに重い腰のところがあります。今年度から、CS活動を始めた盛岡の厨小などでは、2か月に一回は熟議をしています。早く始めたいけれど、まだまだと思っています。ファシリテーターは、皆川先生以外にも櫻田さんなど出来る方はいらっしゃいます。社会教育を学んだ人たちもいます。ぜひどんどんやってほしいです。
- ・町全体として、伝統文化への取り組みを、どのようにしていくのか。検討していきたい。よしゃれひとつにしても、今後どのようにしていくか考えなければいけない段階だと思っています。
- ・他の学校さんの取組や皆川先生のお話を聞けるのは、とても有意義です。ありがとうございました。

令和7年度雫石小学校コミュニティ・スクール実践報告集

第1回学校運営協議会【6月6日（金）15：00～16：00】

- (1) 学校経営の重点について（校長より）
- (2) 教育課程ならび主な教育活動について（教務主任より）
- (3) 雫小タイム・行事等について（副校長より）

第2回学校運営協議会【11月25日（火）15：00～16：30】

- (1) 上半期の学校経営について
- (3) 学びフェストについて

第3回学校運営協議会【3月3日（火）15：00～16：00】

- (1) 令和7年度 学校経営重点の反省
- (2) まなびフェスト2025
児童・職員・保護者アンケート結果
- (3) 令和8年度の学校運営について

雫石小学校

◎生内眞理 ○古館謙護
村上安弘 櫻田七海
吉田あけみ（新）
谷地健一（新）
工藤誠（新）
☆豊川浩子（新）★彌勒地哲也
中谷研一 下川恵司



学校運営協議会の様子

雫石小学校5年生 家庭科裁縫ボランティア 学校支援

「玉止めてどうするの～？」

5月29日(木)と6月4日(水)、雫石小学校5年1組、2組の児童の授業で初めての裁縫を行いました。しずく×CANでカギ編みサークルを仲間のうち5名の方が裁縫学習の支援に来てくださいました。「私にできら？」と言いながらも困っている児童に優しく教えていました。玉結び、玉来るようになったときの子どもたちの嬉しそうな顔が印象的でした。



裁縫の先生
かやほしゆきこ
茅橋幸子さん
やなぼしゆんこ
築場淳子さん
よこてのぶこ
横手信子さん
きたぐちあみこ
北口富美子さん
はぎだせいせいこ
萩臺晴子さん

学校支援・地域連携活動

7/10(木) 雫石小2年生

雫石町農業者トレーニング
センター 谷地正司指導員
が野菜作り指導



第55回雫石よしゃれ祭に参加しました

8月11日(月・祝日)に第55回雫石よしゃれ祭が開催されました。本校からは、今年も1・2年生の「ロック調よしゃれ」と5・6年生の「鼓笛隊」が参加しました。雨天が心配されましたが、直前にはお日様が顔を出しました。子どもたちは、暑さにも負けず、最後まで元気いっぱい頑張り、お祭りを盛り上げました。祝日の夕方の出演となりましたが、送迎や応援等、たくさんのご協力、ありがとうございました。



町の安全を守る消防団の活動を知って欲しい！

8月28日(木)は栗石小学校2年生がまちあるきの学習の中で地元消防団の屯所を訪問し、防火衣を着たり、ポンプ車に乗る体験をしました。



栗石小2年生が第1分団第1・2部の屯所訪問

栗石小2年 大好き しずくいし たんけんたい まちあるきボランティアさんと一緒に!

10月10日(金)、よしゃれ通り商店街への町探検では、6つのグループに各1人ずつ、地域の方が見守りをしてくださいました。



かやほしゆきこ
茅橋幸子さん
よこてのぶこ
横手信子さん
ほそかわみゆき
細川美幸さん
やなげゆきこ
築場由紀子さん
たちばなすえこ
橋末子さん
きむらみさこ
木村美佐子さん

栗石小5年 エプロン作り Help! ミシンボランティアさん

10月7日～10月17日の間6回にわたり、栗石小学校5年生は家庭科のエプロン作りで、6名のミシンボランティアさんの力をお借りしました。



すわえみこ
諏訪エミ子さん
ながきかれいこ
長坂礼子さん
ささきひろこ
佐々木浩子さん
ねがわおおり
和川香織さん
さいたこ
齊田かよ子さん
むらかみのり
村上ノリさん

雫石地区まちづくりネットワーク主催 勉強会・情報交換プロジェクト

「あったらいいなを語ろう！まちのワクワク会議」

12月6日(土)に「あったらいいなを語ろう！まちのワクワク会議」が開催され、本校から校長が参加しました。「雫石地区まちづくりネットワークとは？10年前と今、そしてこれから」をテーマとした勉強会の後、「ワクワクする取り組みと今後必要な取り組みを話そう」をテーマにワークショップ形式の情報交換会が行われました。

3つの班に分かれ、世代を超えて話し合わせ、「ワクワクするやってみたい取り組み」では、



高校生からは、好きなマンガを語る会や町内でのプロレスイベントの開催について、ほかの参加者からはビアガーデンの開催や民宿の復活などの意見が出されました。

また、「今必要な取り組み」では、南部よしやれを雫石で広げる取り組みや、行政区や自治会・町内会での役の引継ぎについてと仕組みを若い世代にも分かりやすく伝えてほしい等、多くの意見が出され、参加者それぞれの考えを共有する場となりました。

III 成果と課題

1. 成果

- ・ボランティアの方に来校していただいたり、探検や見学学習に出かけたりしながら、地域とのつながりが深まった。そのような学習を積み重ねることで、子どもたちと地域の方双方向の認知が高まるとともに、子どもたちの「ふるさと雫石」を大切にする心を育むことができた。
- ・学校運営協議会の熟議では、学校経営に関してただ承認いただくだけでなく、より円滑に運営していくための具体的な提案をしていただいた。また、地域の危険箇所や問題となっている事項についても話し合うことができ、大変有意義であった。

2. 課題

- ・「ふるさと雫石学習」の充実

年間指導計画を見直し、それを職員間で周知・確認しながら、自分たちのふるさと雫石に対して、愛着と誇りがもてるように、活動の充実を図る。そのために、学校運営協議会の協力を得ながら、地域の人材や教材について指導者側が見つめ直し、有効活用していくようにする。

- ・地域学校協働活動のさらなる充実

「学校支援」として地域の方が来校し、支援いただいているが、「地域学校協働活動」として、地域と一体となって取り組む活動が少ない。「地域清掃」を今年度も企画してはいたが、熊の出没により中止となってしまった。児童や地域の方の安全に十分配慮しながら活動を充実させていき、今後の持続可能な形での実施を探っていくようにしたい。

IV 次年度の計画

1. 第1回学校運営協議会（5月～6月）

- ① 目標の共有
- ② 学校経営について

2. 第2回学校運営協議会（10月～11月）

- ① 学校支援活動、地域連携活動の価値付け、発展
- ② 地域連携活動についての情報共有、振り返り
- ③ 第1回学びフェストについて（児童）

3. 第3回学校運営協議会（2月）

- ① 地域学校協働活動の振り返り、次年度に向けての方向性
- ② 学びフェストについて（児童・保護者・教職員）
- ③ 令和8年度の学校運営について

令和7年度七ツ森小学校コミュニティ・スクール実践報告集

I 学校運営協議会の開催

七ツ森小学校

第1回学校運営協議会 令和7年5月8日(木) 10:00~11:30

- 学校運営協議会委員の役割について(下川)
- 令和7年度学校経営について
- 令和7年度組織について
- 令和7年度地域学校協働活動実施計画について
- 令和7年度学校運営協議会予算について
- 授業参観

◎井口幸太 ○照井将太
村山ゆみ 徳田和男(新)
森越康雄(新) 廣瀬武(新)
菊池佳恵(新) 千葉清
加藤清夏(新) 細川綾子(新)
☆菅原由香里 ★岩渕忠徳
下川恵司

第2回学校運営協議会

令和7年10月20日(月) 10:00~12:00

- 令和7年度学校経営中間報告(学力向上・心の教育・いじめ・地域行事・体力・熊対応・学びフェスト)
- 令和7年度「地域学校協働活動」中間報告
- 新生雫石町70周年記念式典アトラクション参加
- 第2回スマイルミーティングについて



(学校運営協議会の様子)

第3回学校運営協議会 令和8年2月24日(月) 10:00~11:30

- 令和7年度学校経営反省について
- 令和7年度地域学校協働活動反省について
- 令和8年度学校経営方針について
- 第3回スマイルミーティングについて

II 特色ある活動

七ツ森小学校学校運営協議会の新たな試みを紹介します

～合言葉は、まずやってみよう！～

1 七ツ森保育園と連携し、「めざす子ども像」を作成 (0歳～6年生)

4月の2週間、新1年生が安心して保育園から小学校生活に移行する「架け橋期」の取組として、東町でピアノ教室を開いている加藤清香^{かとうさやか}さんが7時半から七ツ森小のホールのピアノを演奏しに来てくださいました。子どもたちはリラックスしつつも、自発的に席に着く時間が日ごと早くなっていき、小学生としての自覚が芽生えてきました。

七ツ森保育園と共同で作成。今後は中学校とも連携していきたいな！



ピアノ演奏に集まる児童たち

2 地域情報交流会(熟議)を年3回実施

今年は学校運営協議会が地域の方々をお招きし、気軽に雑談する(熟議)を6月、11月、3月に開催しました。それに先立って、昨年度3月に、学校運営協議会が、行政区長や自治会長などに声掛けして「七ツ森スマイルミーティング」を開催し、その時のメンバーから今年度の学校運営協議会委員に選ばれている方もいます。



3 地域ぐるみの総合学習の実施 ～子どもの自己実現力の育成～

3年生 七ツ森地域の良さ再発見(環境)

4年生 近隣施設との交流(福祉・共生)

5・6年生 地域に貢献する人々の姿と自己の将来(キャリア・地域貢献)

5月8日(木)の学校運営協議会で、5・6年生は自分たちの住む地区ごとに、地域の役割(行政区長、自治会長など)を担っている委員の方にインタビューをしました。児童の質問に対して、地域の方々は、地域の現状や、課題、子どもたちに望むことなどを答えました。

東町行政区

給料は出ないんですよ



失礼ですが、自治会のお仕事には給料がでますか？

七ツ森・丸谷地行政区

スクールガードの名前を覚えて挨拶するとお互いに心地いいと思います！



6月11日(水)、セツ森小学校学校運営協議会委員が学校と地域をつなぐきっかけ作りを目的に、友人・知人を学校に招待し「第1回セツ森スマイルミーティング」を開催しました。この日はおよそ20名が集い、和やかに地域や学校の話について談話しました。特にテーマを設定せず、雑談会のような雰囲気の中、セツ森が自然に恵まれた場所であることや、セツ森小伝統の金管バンドが地域の誇りになっていること、小学校を卒業した後の地域とのつながりについてなどが話題になりました。

ミーティングの後半には5・6年生の児童らが、地域のつながりがより強く、より広くなるようなイベントを企画しようと考え、アンケートの依頼に来ました。このアンケートは、セツ森地区にも班回覧し、広く意見をいただく予定です。寄せられた声をもとに、今後の学習の中で学校と地域にとって有益なイベントを検討していきます。



アンケートをお願いします！



3年生 セツ森の良さ再発見（環境）

6月3日(火)、3年生15名はグループごとに地域の4名の山の達人の引率のもと、稗糠森、勘十郎森、三角森、見手の森に登り、それぞれの森の自然の様子を観察しました。



山の達人

栗田裕年さん
高橋良和さん
阿部幸子さん
芦久保真人さん

4年生 近隣施設との交流（福祉）

4年生は松寿荘、はーとぽーと雫石、グループホームたんたん、希望ヶ丘学園、岩手県リハビリテーションセンターに運動会の招待状を持って訪問しました。5月24日の運動会には4つの施設から入所者約20名が応援グッズを作って駆けつけてくださり、児童たちは競技や金管の演奏を張り切って披露しました。



5・6年 近隣施設の方々へ感謝と笑顔を届けたい！「クリスマス訪問コンサート」（地域貢献活動）

「運動会や学習発表会に来校できない施設の方々にもセツ森小学校が誇る金管バンドの演奏を聴いていただき、私たちの感謝と元気を届けたい」という児童の思い。しかし、実現するためには、楽器の運搬等はどうするか？等、自分たちだけでは解決できない問題が発生しました。そこで、児童は、学校運営協議会の皆様に相談。大人がやること、児童がやることを話し合い、実現にこぎつけることができました。希望ヶ丘学園、松寿荘、はーとぽーと雫石を訪問し、コンサートを行いました。地域の方々の手際の良い準備・片付けのおかげで、児童は、演奏に集中することができました。各施設の皆様が手拍子で応援してくれたり、一緒に歌ったり、涙を流しながら拍手をしてくれたりする姿を目にしたり、会場が一体となっている雰囲気を感じたりする中で、児童は、自分たちが地域の役に立つことができる存在なのだ実感し、地域への愛着、そして、自己実現力を高めることができました。





～児童の振り返りより～
 今回の目的は、学習発表会に来られなかった方々に私たちの音楽を届けようという思いから始まりました。計画を立てるときは、演奏を通して地域の人たちとどのようにつながれるかを班で話し合っ決めてました。曲選びも、小さい子には「さんぽ」お年寄りの方には「川の流れるように」など、それぞれの年代にあった曲を選びました。初めて、自分たちが考えたコンサートを実現させて、施設の方々を感動させることができました！私たちの熱い思いが運営協議会の方々に伝わり、地域の方々が協力してくださったからこそ実現できたコンサートです。そして、自分たちでもできること、自分たちだからできることがあり、それを応援したり、楽しみにしたりしてくださる地域の方々がいるということを自信に、これからもがんばりたいです。

学校支援・地域連携活動



8/4 (月) セツ森ワークショップ：セツ森小学校入り口付近に、児童が色塗りした5台の丸太ベンチを設置

雫石町・岩手県緑化推進委員会雫石支部主催のワークショップに、セツ森小学校区学校運営協議会が共催として行っているセツ森ワークショップ。夏休みは、学童クラブの児童を中心に、延べ30名ほどが参加しました。

セツ森小学校クラブ活動 地域✿の先生から教えてもらったよ～👁

11月11日(火)、セツ森小学校ではクラブでどんなことをやりたいか児童に希望をとり、図工クラブは「ちゃっとの一む花の会」からフラワーアレンジメントを、家庭科クラブは「雫石町食生活改善推進員」を講師に招き、二色巻き餅の作り方を教えていただきました。

図工クラブ×ちゃっとの一む花の会

ちゃっとの一む花の会
 細川 睦さん
 JA 新岩手
 水本あゆみさん



フラワーアレンジメントは、1ヶ月以上も学校に彩りを添えました。

家庭科クラブ×食生活改善推進員



雫石町食生活改善推進員のみなさん
 工藤 幸子さん 石亀 文子さん 荒塚 陽子さん
 杉澤 みよ子さん 瀬川 綾子さん 高橋 洋子さん
 佐々木 啓子さん 雫石町健康推進課 佐藤 佑衣子さん

学校と協働・連携する人

加藤清夏さん セツ森在住

2003年より東町でピアノ・エレクトーン教室主宰

2024年入学式や40周年記念式典の伴奏

2025年始業前のホールでピアノ演奏(2週間)3年生の音楽の授業、七夕合唱の伴奏、学習発表会など支援。スクールガードもしてくださっています。また、学校運営協議会委員になり、セツ森小学校にとって、なくてはならない存在になっていて、加藤さんのピアノ伴奏が「教員の働き方改革」の一助となっています。



児童の技術や意識の高まりが見えることが嬉しいです！

2025 セツ森ワークショップ開催

11月29日(土)、セツ森小学校入口から松寿荘に向かう町道沿いを会場に、100本のツツジの苗を植樹するセツ森ワークショップが開催されました。

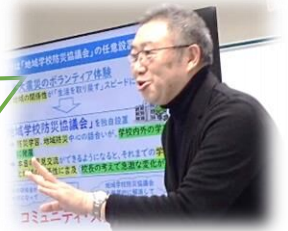


第2回 セツ森スマイルミーティングを開催

テーマ:「学校」をきっかけに小さなつながりから始めてみよう

11月19日(水)、秋田大学非常勤講師の皆川雅仁氏^{みながわまさひと}をファシリテーターに迎え、セツ森小学校と御明神小学校で地域の方に呼びかけて熟議を行いました。(熟議とは参加者が他の人たちと意見交流することにより、多種多様な価値観や情報に触れ、自身の考え、立場、役割等についての認識を深めるための話し合いのことをいいます。)

熟議の目的は結論を出すことではなく、長いスパンで目的・目標を共有することです



皆川 雅仁氏

セツ森小学校では学校運営協議会主催で6月に続き2回目のスマイルミーティングを行いました。前回集まった人が、知り合いに声をかけ地域の方12名が集い、セツ森地区や、セツ森小学校の良さ、どんな地域にしていきたいか、そのためにあなたは何かをするか等を自由に話しました。



セツ森小の誇れるものは、やっぱり金管バンド！将来はセツ森を愛する人になって欲しいな



七ツ森小学校地域学校協働活動

七ツ森ハーモニープロジェクト



七ツ森小金管バンド施設訪問演奏会

粟石町立七ツ森小学校5、6年生は、総合的な学習の時間に「地域のつながり」を目指し、「七ツ森ハーモニープロジェクト」を展開しています。スマイルミーティング(熟議)で出された案をもとに、児童は学区内にある希望ヶ丘学園、養護老人ホーム松寿荘、介護老人保健施設はーとぼーと粟石での金管バンドの施設訪問演奏会を企画し、12月17日(水)と18日(木)に実施しました。自分たちだけでは解決できない楽器運搬の問題を学校運営協議会の皆様に相談。当日は、自家用車で楽器運搬と会場設営をご協力いただいたことで、教員は演奏指導に専念することが出来ました。

学校運営協議会井口会長は「保護者中心ではなく身内に在校生がいるわけでもない地域の方が子どもたちの活動を支え、先生たちと連携していることが意義あることだと思う」と話します。

今年度、七ツ森小学校は学校運営協議会を中心に、地域とつながるスマイルミーティングを2回開催。大人も子どもも知恵を出し合い、地域学校協働活動を推進しています。

12/17 希望ヶ丘学園



アンコールを含め、10曲を演奏。利用者さんも笑顔でノリノリ♪学校運営委員や地域の方9名が協力くださり、演奏を鑑賞しました



4年生がプレゼントを準備。学習発表会を収録したDVDもあります

12/18 養護老人ホーム松寿荘



施設長の提案で、2日間の児童の移動を松寿荘がバスを出し、サポートしていただきました



児童の一生懸命な演奏に、涙ぐみながら鑑賞する利用者さんの姿も

12/18 はーとぼーと粟石



4年生が用意したプレゼントを入居者に手渡す児童



はーとぼーとを訪れた地域ボランティアの中には「将来お世話になるかも」と、下見という一面も!?



映像制作を手掛ける井口さんの指導で児童がポスターを制作。各施設に掲示されました



地域のみなさん、楽器運搬ありがとうございます！

第3回スマイル・ミーティング開催

3月13日(金)、約30名の方々が参加し、第3回スマイル・ミーティング(地域情報交流会)を開催しました。

今回は、今年度最後のスマイル・ミーティングということで、今年度、地域との交流活動に関わってくださった方々を中心に、6年生の子どもたちも一緒に、この一年の活動を振り返りました。

子どもたちと地域の方々、それぞれの立場で感じたこと、考えたこと、これから実現させたいことなど、率直に語り合い、あっという間の二時間でした。



スマイルミーティングでのたくさんの感想や意見は、来年度の学習や活動に生かしていきたいと思います。今年度一年間、子どもたちの学習を支えてくださった地域の皆様に改めて感謝いたします。そして、6年生は、来年度は、地域を支える一員として、様々な場面で活躍してくれることを期待しています。

【子どもたちより】※たくさんの発言から抜粋

- ・これまで、地域の活動やどんな人たちがいるかについて考えてみたこともなかった。でも、インタビューをしたり、アンケートをとったりすることを通して、地域の人たちが考えていることや自分たちに対して思っていることなどを知ることができた。人の思いを知ること、初めて気付くことがあったので、人の思いを知って大切だと思った。
- ・これまで、どうせ無理だろう、いろいろ考えると面倒になると思っていたけれど、「無理」ではなく、「どうすればできるか」を考えることで実現できたので、こういう学習は大切だと思ったし、自信になった。これからも、やる前からあきらめるのではなく、「どうすればできるか」を考えられる人になりたい。
- ・今日、この場に参加している方々の顔と名前はほとんど知っていると言えるようになった。一緒にコンサートを実現しようと力を合わせることができ、とても感謝している。
- ・自治会の人たちが地域のために、どれだけ頑張っているのかわからず、すべてが当たり前だと思っていたが、この学習を通して、地域に対する思いが変わり、地域のために頑張っている方々や協力してくれる方々に感謝をしなければいけないと思った。また、コンサートを通して、自分たちにもできることがあり、自分たちにもできることをすれば、地域の方々もうれしくなると知った。私たちでも、地域とつながるきっかけを作ることができるんだと実感できた。
- ・これまで、セツ森のよさは、自然だけだと思っていたが、学習で様々な人たちと関わることを通して、こんなにすばらしい、温かい人たちがたくさんいることを知り、こんなにすてきな人たちがいることもセツ森のよさだと誇りに思った。

【参加してくださった方々より】※たくさんの発言から抜粋

- ・初めて楽器運びに挑戦してみたけれど、1回目より2回目、3回目とどんどんコツをつかんで手際よくできるようになり、楽しかった。また、会場が変わっても、臨機応変に対応する子どもたちの姿に驚いた。子どもたちと一緒に活動するって楽しいなあと思った。
- ・施設側からすれば、どうしても「やってもらう」という意識で申し訳なさがあったが、5・6年生はもちろん、4年生がきたときに、4年生の子どもが「来てよかった。おじいさん、おばあさんに褒められて、喜んでもらえて嬉しかった。」と涙を流して感激してくれた。その姿を見て、利用者の拍手や喜ぶ姿が、子どもたちに感動を与えることができる力になると気付いた。お互いにできることに取り組むことで、お互いを幸せにできることはすばらしいと実感した一年だった。
- ・施設の利用者だけではなく、職員も楽しんだり、癒やされたりする交流になった。子どもたちとの握手は、どんな薬よりもよく効く若返りの薬になっていた。施設側でも、オープンに交流できる環境を整えたい。
- ・先生方を頼らずに、地域でも力を合わせてできることがあることの一步を踏み出すことができた。スキー教室等ももっと地域に声をかけていけば、まだまだ数年は協力できる！
- ・顔が見える関係を越えて、ちょっと無理が言える関係へと心の距離が縮まった一年だった。七ツ森は、歩いていける距離に社会福祉施設がたくさんあるので、今後も交流の在り方を探っていきたい。
- ・子どもたちの感想を聞いて、子どもではなく、地域の一員として大人と対等に語り合えるまでに成長した学びの姿に感動した。また、子どもたちが力を発揮できる場を提供してくれる地域の懐の大きさを感じた。

III 成果と課題

○成果

- ・「まず、やってみよう！」を合い言葉に、できるときに、できる人が、できることから始めるという一步を踏み出し、見通しができつつある。
- ・運営協議会を媒介として、児童の思いを取り入れながら地域との協働を図ったことで、児童の地域への愛着や自己実現力を高めることにつながった。

○課題

- ・今後も、持続可能な取り組み内容や方法を探っていくこと。

IV 次年度の計画

- ・地域の方々との交流の機会を設定し、地域の方々に関心をもっていただく。（スマイルミーティング、研修会の継続等）
- ・「地域で子どもを育てる」地域学校協働活動としての展開を推進していく。
- ・学校運営協議会の実施：年3回（5月又は6月、11月、2月）
- ・スマイル・ミーティングの実施：年2回又は3回

令和7年度西山小学校コミュニティ・スクール実践報告

西山小学校 ※

1 学校運営協議会

第1回学校運営協議会【6月11日（水）13:50～16:00】

- (1) 今年度の学校経営等について
- (2) 今年度の地域学校協働活動について
 - ・テーマ（重点）
 - ・具体的な活動
 - ・収支予算
- (4) 地域と学校をつなぐテーマ及び年間計画について

櫻田一也 松原永樹
岡本信（新） 荒塚健志（新）
齊藤正幸 杉下枝美子（新）
滝澤美紗子 高田恭平
櫻田孝憲（新） 小田島充（新）
☆宇部輝彦 ★星健也
千葉恵子 佐藤賢治 下川恵司

第2回学校運営協議会

【11月20日（木）15:40～16:30】

13:30 西山まつりの見学

- (1) 上半期学校評価（職員・保護者評価）・学校経営の成果と課題
- (2) 地域学校協働活動について
 - ア、上半期の活動について
 - ・運動会チャンスレースでのコラボ・農業体験・ふるさと学習・防災学習・読み聞かせ・教科等学習支援・福祉体験・伝統芸能・熊生態学習
 - ・岩手大好きクラブ
 - イ、来年度の活動について
 - ・予算について
 - ・「熟議」の開催について



学校運営協議会の様子

第3回学校運営協議会 【2月20日（金）13:45～15:30】

- (1) 2学期学校評価（児童・保護者・教職員アンケート）について
- (2) 年間活動報告について
- (2) 令和8年度学校運営方針について
- (3) 令和8年度推進計画について

2 特色ある活動

西山小学校 畑作りボランティア 学校支援 畑作りのコツを児童に伝授

5月28日(水)～30日(金)の3日間、西山小学校では学級ごとに地域の方に畑作りを教えてくださいました。今年は11月20日(木)に同校で開催予定の「西山まつり」で収穫した野菜を活用しようと、植える野菜の選定から、高橋勝明たかはしかつあきさんに相談して決めました。ボランティアのみなさんは畝の作り方や、苗や種の植え方を児童に教え、知恵を絞りながら、そこにある材料でキュウリやヘチマの支柱を作ってくださいました。



畑作りの先生

高橋勝明たかはしかつあきさん、堂前節子どうぜんせつこさん、桐山桂子きりやまけいこさん、
武田長榮たけだちやうえいさん、高田良子たかだりやうこさん

西山小学校5年 学校支援

作る楽しさを知って欲しい、ミシンボランティア

6月25日(水)～7月4日(金)の4日間、5年生22名は初めてのミシン学習でエプロン作りに挑戦しました。4名のミシンボランティアの方が、ボビンの糸の準備や、上糸と下糸の調整、児童の学習支援まで強かにバックアップしてくださいました。



高橋安子たかはしやすこさん、横手タイ子よこてさん、佐藤紀子さとうのりこさん、長澤キヨ子ながさわさん
「自分で出来た！」経験が作品作りの意欲につながります

西山小3年生 地域学習

西山の魅力、いっぱい発見！地域めぐり

6月25日(水)、西山小学校3年生(20名)は西山めぐりに出かけました。雫石神社、岩手山神社、玄武洞などを巡り、今年は新たに宮田醤油店の見学をさせていただきました。

雫石神社



松本光正まつもとみつまささん、柴橋幸三しばはしこうぞうさん、熊野美代くまのみよさんから神社のお話を伺い、涼やかな音色の水琴窟すいきんくつを体験させていただきました

岩手山神社



宮司の笹田裕一ささだゆういちさん、高前田良雄たかまえだりょうおさんから茅の輪くぐりの参拝の仕方を教わりました

宮田醤油店



醤油作りは水が大切。水が美味しい場所を探していたら雫石にたどり着きました

どうしてこの場所に工場を建てたのですか？

地域に生息するツキノワグマの生態を学ぼう



昨年度、西山小学校の学校運営協議会で滝澤美紗子^{たきさわ みさこ}委員から地域に被害をもたらす鳥獣について子どもたちに知ってもらうため、クマ等の目撃情報を集めたマップ作りの提案があり、意見やアイデアを出し合いました。

8月26日(火)、第1弾として鳥獣害対策実施隊隊員でもある滝澤さんと、農林課鳥獣害対策専門員村上敦美^{むらかみ あつみ}さんを講師に、3年生に「地域について知ろう 野生動物について～ツキノワグマ編～」の授業を行いました。

ツキノワグマの鼻先からお尻までの体長は、大人で110～150cm位です

ツキノワグマは本来臆病で人間を避けるが、驚くと身を守るために攻撃することもあることや、山に食べ物がなかったり、人間の食べ物の味を覚えたりすると里に下りてくること等を教えると、児童からは次々と質問が出ました。滝澤さん、村上さんから聞いたことを踏まえ、児童はクマに出会わないようにするにはどうすればいいかを考え、発表し合いました。また、クマと出会ってしまったときの対応についても教わりました。滝澤さんは、「今日学んだことをお家の人とも話し合い、被害に遭わないようにしてほしい」と話しました。



第2弾は、学区内でツキノワグマの目撃情報があつた地図上の場所に印をつけてクマ出没マップを作成する予定です。地域の方に対し、正しい知識を持って鳥獣害に備えられるようなクマ出没マップの活用方法を考えていきます。



西山小学校 3年生

町内めぐり②～岩手山のめぐみをたずねて～

農林課と連携し、熊対策も実施!

9月16日(火)、西山小学校3年生20名は今年2回目の町内巡りに出かけました。



民宿しらかばの蔵には100年以上前の民具がきれいに展示されています



小岩井農場の木造4階建ての倉庫には当時では珍しいエレベーターがありました



貝の化石を夢中で発掘する児童たち(橋場地区)

地域のお祭りや運動会を盛り上げよう

西山小学校は西根地区大宮神社、下長山地区柿木大神宮、上長山地区稲荷山大神宮のお祭りの日は、児童が地域のお祭りに参加しやすいように午前授業にしています。9月11日(木)は柿木大神宮のお祭りが行われ、西山小学校の先生方が、日頃お世話になっている地域の祭りを盛り上げようと、カラオケ大会に出場しました。校長先生と、副校長先生はカ士のコスチュームで熱唱。その様子を見に来た先生方も熱唱♪町内で相撲に取り組んでいる児童カ士たち(栗石小学校や、御所小学校、西山小学校の児童等)による奉納相撲も行われ、お祭りを盛り上げました。

地域のお祭り(柿木大神宮)



自主練習して挑んだカラオケ♪

9月14日(日)、旧上長山小学校グラウンドで「にしやま大運動会」が行われ、チェッコーリー玉入れ、借り人競争、ムカデ競争、西山の恵みりレーなど、地域と児童と一緒に競技を楽しみました。

学校と地域の運動会を合同で行う学校のメリット

- ① チャンスレースの指導時間を教科の学習に充てられること。
- ② 準備や後片付けを地域と協力して行えること。
- ③ 地域の多くの人が集まることで、児童は張り切って成果を見せようと取り組むこと。



奉納相撲に歓声が上がりました

地域のメリット

- ① 参加者の拡大が見込めること。
- ② 機材の共用と、会場準備の軽減が期待できること。

宇部^{うべ}校長は、「地域とともにある学校づくりから一歩踏み込んで、学校を核とした地域づくりを目指している」と話します。これから西山小学校と、地域(西山まちづくり会議)が話し合い、来年度は小学校と地区民運動会の同日開催に向けて企画・準備をしていきます。



特産物で繋いだ、西山の恵みりレー

西山小学校×西山まちづくり会議共催 地域の人が集い、西山小まつりを開催



オカリナサークルの優しい音色♪



畑ボランティアさんのアドバイスで豊作だったサツマイモの蒸しパン！



旧プチマート井上の店舗で OZASIKI を開催している「好恵舎」は的当て・型抜き・昔遊びのブースを出店☆☆☆



地域に住む特別支援学校児童と、旧下長山小児童との6年間にわたる交流の記録映像を上映しました

昔遊んだ闘球盤。懐かしいな



よーし、対決だ！！



おはじきやけん玉もあるよ♪



上長山無形文化財振興会による「男よしゃれ」



児童や、地域の人を対象に餅まきをしました

餅は五年生が収穫したもち米（ヒメノモチ）を使用

～お知らせ～

西山小学校 3年生
ツキノワグマの生態学習 & 熊出没マップを「松ぼっくり」で展示します🍪

展示期間 12月20日(土)～1月31日(土)
場 所 手づくりアイスクリーム牧舎 松ぼっくり
2階 休憩スペース
松ぼっくりにご来店の際はお立ち寄りください(^▽^)/



※写真は中央公民館ロビー展示の様子

西山小学校

スキー学習ボランティア

1月27日(火)から2月3日(火)までの4日間、西山小学校の1、2年生は校庭でのスキー学習の際、地域の方からスキーの初歩の指導をしていただきました。初日、1年生は靴の履き方、ストックの持ち方、平地での歩き方を教わりました。2年生は、校庭のスキー山にカニ歩きで登り、ハの字で滑り、感覚を思い出しました。教えに来てくださった地域の方々は、自分たちのお子さんが小学校を卒業してからも地域の小学生のスキー指導に携わってくださっています。



スキー指導ボランティア

お だ た か し な か が わ あ き ひ ろ い と う あ き こ
小田 隆 さん、中川 昭 弘 さん、伊東 昭 子 さん

Ⅲ 成果と課題

1 成果

- 従来取り組んできた活動を今年度もおおむね実施することができた。
- 今年度新たに全校での防災学習（避難訓練と合わせた防災学習）、3年生の安全（クマ出没情報）マップづくり学習を実施し、地域の力を活用した学習を進めることができ、児童の深い学びにつながった。また、作成したクマ出没情報マップを公民館や近隣飲食店等に掲示し、子供たちの学びの成果を地域に向けて発信することができた。

2 課題

- 持続した取組となるように、これまで取り組んできた活動をその目的から見直し、整理・統合をして教育的位置付けを明確にする必要がある。
- 今後とも地域や関係機関と活動目的や情報の共有を行い、共通理解のもと活動していく必要がある。

次年度の計画

1 テーマ及び重点

【テーマ】 学校を核とした地域との協働「みんなわくわく西山小」

【重点】 地域と学校が協働した魅力ある交流活動の実践を通して、学習の充実を図るとともに、地域のよさを学び、郷土に誇りをもつ児童を育てる。

2 予定される活動

地域の方々や「西山まちづくり会議」及び関係機関と連携・協働しながら以下のような活動を進める。

- ・合同運動会 ・西山小まつり ・地域ふるさと学習 ・ミシン学習 ・農業体験（米作り）
- ・安全マップづくり ・環境学習 ・スキー学習 ・里山観察（学校林見学）
- ・岩手大好きクラブの体験学習 ・読み聞かせ活動 ・宿泊体験学習（登山ガイド）
- ・伝統芸能継承活動

令和7年度御明神小学校コミュニティ・スクール実践報告集

I 学校運営協議会の開催

第1回学校運営協議会 令和7年6月13日(金) 15時00分～16時30分

- コミュニティ・スクールについての説明(下川)
- 今年度の学校経営、年間行事計画、まなびフェスト等について
- コミュニティ・スクールの取組
 - ・「地域と学校がパートナーとして連携・協働」
 - ・御明神未来づくり協議会との協働
- 「地域と学校を結ぶ共通のテーマ」について
 - ・チョウセンアカシジミ観察保護・竜川水生生物調査・アルミ缶回収・学校林・道の駅コラボ
 - ・春木場駅清掃・橋場文化祭・御明神・橋場地区盛り上げ隊・スキー教室
- 今年度について
 - ・地域学校協働活動は道の駅とのコラボは6年生を中心に取り組む。・「チョウセンアカシジミ」山形県川西町視察等(昨年度の上記活動は実施)

御明神小学校

- ◎小志戸前健一(新)
- 千葉麻由(新)
 - 石山春男 中南博 原正人
 - 佐藤きよ子 高八卦喜子(新)
 - 米田和子(新) 三上友子(新)
- ☆布田貢・菊池昌典
- ★米晶子(新) 浅野匡
- 下川恵司 鈴木郁子(新)

第2回学校運営協議会 令和7年10月8日(水)

15時00分～16時00分

- 上半期の学校評価(自己評価)と学校経営上の課題について
 - ・「理由をつけて」の教職員の意識と児童や保護者との差が見られる。
 - ・「メディアルール」について保護者への働きかけをし意識化を図る。
 - ・家庭での読書をする習慣化が大切。
- 学校支援・地域連携・地域学校協働活動について
 - ・「雫石盛り上げ隊」道の駅雫石あねっこと地域学校協働活動の6年生活動状況について
 - ・地域の見守り体制について(熊の学区内出沒について) ・スキーボランティアの要望。



学校運営協議会の様子

第3回学校運営協議会 令和8年2月13日(金) 13時30分～14時50分(授業参観あり)

- 今年度の学校経営と下半期の学校評価についてと今年度の学校運営協議会の活動についての報告
 - ・地域の皆様の理解と協力を得ながら、今年度の活動を終えられたことを報告。
- 次年度学校経営計画について説明し、委員の皆様から承認を得た。
- 次年度学校運営協議会の活動について・・・今年度の活動を継続して行うことを確認した。
- 意見交流
 - ・授業参観をして、児童の数が少ないことを実感した。みんな張り切って勉強していた。
 - ・タブレットなど、電子機器を活用した学習をしていて、時代の変化を感じる。

御明神小学校

チョウセンアカシジミ先進地視察 ～山形県川西町～

御明神小学校は町内の学校で唯一、町指定天然記念物チョウセンアカシジミが生息しており、毎年4年生が観察を行っています。

6月17日(火)御明神小学校^{ぬのた}布田校長は、チョウセンアカシジミの保護活動に地域ぐるみで取り組んでいる山形県川西町大塚小学校を生涯文化スポーツ課職員と訪問し、お話を伺ってきました。布田校長は「保護活動を行うには地域の理解も大切であることを感じた。チョウセンアカシジミの存在を地域に情報発信し、学校運営協議会などで話題にし、地域の方々の理解と協力を得ていきたい」と考えています。

川西町チョウセンアカシジミを守る会 ^{そうまこういちろう}相馬孝一郎さんと蝶を確認する大塚小学校の児童



「地域の教育力を生かした学校運営」を実践し、CSが盛んな川西町

御明神小学校 3年生

雫石めぐり～御明神の自慢できるものをたずねて～

熊対策
実施！

9月17日(水)、御明神小学校3年生13名は雫石めぐりに出かけました。クマの出没が頻発しているので、お家の方にも呼びかけ、5名の方が見守りを兼ねて同行しました。



町の指定文化財の多賀神社のご神木は、3年生みんなで手を繋いだくらいの太さです



この日は上和野馬頭観世音堂のお祭りの日で、年に一度お披露目の宝物の掛け軸を拝観することができました



この場所が大昔は海(湖)だったことを示す、貝の化石をたくさん見つけました！

御明神小学校 6年生

道の駅栗石あねっこを盛り上げたい!

9月26日(金)、御明神小学校6年生9名は、「道の駅栗石あねっこ」を盛り上げようと、自分たちが出来ることを考えるために道の駅を訪問し、物販事業部次長おがさわらたかのぶ小笠原崇敦さんと同敷地内のしずく庵の小志戸前かずお和夫さんからお話を伺いました。

11月13日(木)、児童たちは道の駅を再訪し、3つのチームに分かれ、チームごとに考えたアイデアを担当者にプレゼンテーションしました。小笠原さんからは、これから道の駅で売り出していきたい商品や、ポスター制作のポイントをアドバイスいただきました。しずく庵の小志戸前さんからは、栗石産のそばにこだわり、そばを特産にしているために励んでいるというお話を伺いました。また、しずく庵のそばをPRするPOP作りの参考にするために、全員で天ざると鴨せいろを試食しました。

今回確認したことを踏まえて、児童は道の駅やしずく庵のPOP、こびるキッチンに掲示するポスターの作成に取り組んでいます。

①キャラクター開発チーム



②こびるキッチンポスターチーム



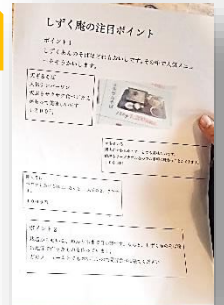
町の特産のねぎを使った商品や、ここでしか買えない新商品のドレッシングをPRしたいですね



100%栗石産のそばを味わいながらいただく児童



③しずく庵チーム (有)栗石ソバ産業



橋場の文化祭

11月9日(日)、旧橋場小学校工事のため、御明神公民館にて「橋場の文化祭」が開催され大勢の来場者で賑わいました。この催しは、地域の交流と、地域住民の活躍の場づくりを目的に、御明神未来づくり協議会主催で行われました。御明神小学校児童や、御明神保育所の園児の作品も展示され、来場者は足を止めて鑑賞していました。

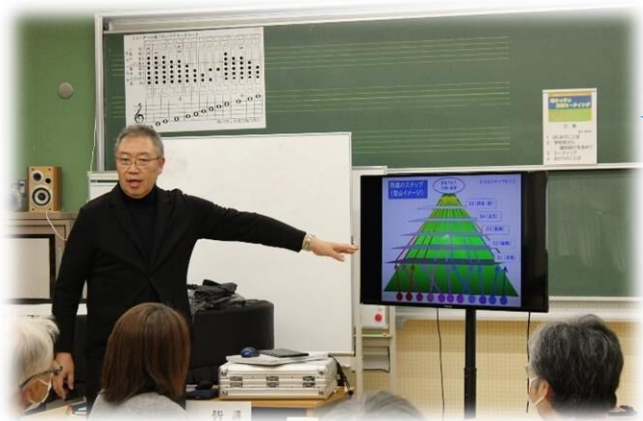


明小っ子☆未来ミーティングを開催

テーマ：御明神の子どもたちが身に付けるべき“チカラ”とは？

11月19日(水)、秋田大学非常勤講師の皆川雅仁氏をファシリテーターに迎え、地域の方に呼びかけて熟議を行いました(熟議とは、参加者が他の人たちと意見交流することにより、多種多様な価値観や情報に触れ、自身の考え、立場、役割等についての認識を深めるための話し合いのことを言います)。熟議当日は、午前には七ツ森小学校、午後には御明神小学校での開催となりました。

本校では、学校運営協議会委員や、御明神みらいづくり協議会、地域のサロン等に声をかけ、11人が集い、20年後の御明神小の子どもたちがどんな大人になって欲しいか、そのためにどんな力を付けさせたいかを和やかな雰囲気の中語り合いました。



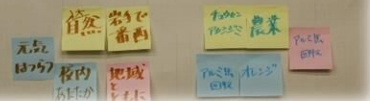
皆川先生から、熟議のステップを登山に例えてお話しいただきました。



参加者の皆さん方で、コミュニケーションタイム。笑顔があふれました。



「御明神といえば・・・」「こんな力を付けて欲しい」「自分にできることはなにか？」自分の考えを、付箋に書いてグループのメンバーと交流しました。



御明神小学校 6 年生 道の駅雫石あねっこ、しずく庵を盛り上げたい！

PR ポスター・POP・キャラクター完成

しずく庵のそばをイメージしたそば大将

御明神小学校 6 年生 9 名は「道の駅雫石あねっこ」と「しずく庵」のポスターや POP を作成し、2 月 9 日(月)に納品・掲示を行いました。児童は、商品や施設を PR するユニークなキャラクターも考案し、雫石あねっこの大橋良二社長は「ぜひ施設内で活用させてもらいたい」と話しました。しずく庵にはメニューの美味しさをイメージさせるようなポスターと POP を届けました。その様子は IBC 岩手放送の夕方のニュースと、岩手日報の紙面でも取り上げられました。



あねっこの温泉をイメージした湯太郎



虹色パークキャンプ場をイメージしたキャンプ隊長



III 成果と課題

1 成果

- ・学校運営協議会を 3 回開催し、地域の様子・学校の現状の情報交換を行うことができた。また、まなびフェストの集計結果を開示・説明することで、学校の運営方針にご理解・ご意見をいただくことができた。
- ・今年度は熟議を行い、地域の様々な立場の皆様と一緒に子どもたちの育成について意見交流を行うことができた。

2 課題

- ・熟議など、地域の多くの方々に参加いただくため、周知の時期や方法、対象について早めに検討をすること。
- ・地域の方々との情報交換で得た情報を、活動に生かしていくこと。

IV 次年度の計画

1 推進方針 地域に根ざした教育活動の推進

2 重点 身近な文化や環境に関心をもち、地域の方々との交流を図り、郷土を愛する心情を育む。

3 活動内容

- ・春木場駅清掃（ボランティア教育）
- ・道の駅コラボ（地域学習）
- ・チョウセンアカシジミ・学校林・水田学習（地域学習）
- ・雫石めぐり（地域学習）
- ・スキー学習（学習支援）
- ・地域情報交流会

令和7年度御所小学校コミュニティ・スクール実践報告集

I 学校運営協議会の開催

【第1回学校運営協議会】 6月12日（木）18:00～19:00

御所小学校

1 今年度の学校運営協議会・地域学校協働活動について

- (1) 学校運営協議会
- ・学校運営・学校評価・地域学校協働活動の話し合い
- (2) 地域学校協働活動
- ・防災学習（消防団操法演習見学、消火、放水体験）10月28日
 - ・ふるさと遠足（大村そば作り、鶯宿スタンプラリー）9月9日
 - ・環境美化学習（虹色花壇花植え、地域ゴミ拾い）10月26日
 - ・各施設との連携による体験学習（入所者との交流など）
（日赤鶯鳴荘、うぐいすの郷、御所保育園）
 - ・地域の土地利用を試す学習（ヘーゼルナッツ植樹、草刈り、収穫など）
- (3) その他
- ・徒歩通学していることから熊情報や対策（見守り）必要。

細川政哉（新） 上村信（新）

上野新人 工藤政善

澤口文香 高橋勝弥

廣瀬誠 松村静（新）

☆高橋雄賢（新）

★山根一志

下川恵司

【第2回学校運営協議会】 10月16日（木）18:00～19:00

1 上半期の学校経営について

- (1) 児童や教職員の様子の報告、課題に向けた今後の取り組みの意見交換
- (2) 今年度の行事の振り返りと評価

- ・にじいろ花壇づくり（地域の方々16名参加）
- ・ふるさと遠足
- ・敬老会
- ・施設交流（特別養護老人ホーム 障害者支援施設）

2 学校運営協議会にかかわる今後の活動予定

(1) 防災学習

- ・消防団操法演習見学（全校）
- ・放水体験（各学年代表児童）
- ・消防団との対決による消火体験（6年生、教職員）

(2) 環境美化学習（クリーン作戦Ⅱ）



(学校運営協議会の様子)

【第3回学校運営協議会】 2月20日（金）13:10～14:20

1 授業参観

2 令和7年度の教育目標に関する評価結果について（成果と課題）

3 令和8年度の学校運営について

II 特色ある活動 (雫石町コミュニティ・スクール通信などより抜粋)

御所小学校 地域交流活動

学校と地域をつなぐ、にじいろ花壇

御所小学校の校門に続く坂道の花壇には、赤、黄、白、ピンクの花が植えられ、地域の人達にも親しまれています。昨年から地域の方や保護者に呼びかけて、子どもたちと一緒に花植え交流を行っています。今年は PTA ボランティア7名の他、御所地区老人クラブ3名、片子沢ふれあいサロン4名、戸沢いきいきサロン2名が参加し、児童と「にじいろ花壇」を作りました。この活動で地域の方と学校、保護者が繋がり、児童がふるさとを大切に思う気持ちを育んでいくことが期待されます。



御所小学校 地域学校協働活動

クマの脅威から徒歩登校の児童を守りたい！

御所小学校では、健康でたくましい児童に育ってほしいと、春の PTA 総会で保護者にも協力を得ながら徒歩登校に取り組んでいます。そこで心配なのは、熊の出没です。学校運営協議会で話し合い、通学路で熊を目撃したら学校に電話連絡してほしいと班回覧で地域に呼びかけることにしました。そこで得た情報は農林課林業対策室とも連携共有することになりました。学校の取り組みが地域全体に波及し、クマの被害から子どもたちや地域住民を守る意識の醸成に繋がっていくことが期待されます。

地域施設交流 御所小学校×日赤鷺鳴荘

一緒に七夕飾りを作ったよ

7月4日(金)、御所小学校1年生7名は日赤鷺鳴荘を訪問し、入所者と一緒に七夕飾りを作りました。ハサミを使うのが難しい方に「切りますか？」と声をかけて切ってあげる児童もいました。

日赤鷺鳴荘では6月に2年生が花植えを行いました。秋には6年生が同施設で介護職を体験し3、4年生はうぐいすの郷で交流をする予定です。地域の施設と継続的に関わることで、お年寄りへの接し方や介護の仕事について体験を通して学ぶことができます。



おうめいそのおじいちゃんおばあちゃん
こんどおりのひとたちがげんき
こうぞくからましますように。

合唱「にじ」の
プレゼント♪

地域のいいところ発見！ 〇〇 ふるさと遠足

御所小学校は旧小学校区へ行き、地域の方との交流や奉仕作業を行うふるさと遠足を行っています。

9月9日(火)、2年生14名は、旧大村小学校で地域の方から教わりながら、そば打ち体験を行いました。大村地区の吉田金^{よしださん}さんからは粟石弁の昔語りをききました。3年生19名は鶯宿温泉で、50年前の写真をもとに今の場所を写真に撮るウォークラリーを行いました。この活動は学校運営協議会で発案され、協働で行われています。



旧大村小学校利活用実行委員会の方が教えてくれました



御所地区の民生委員7名と一緒にウォークラリーに挑戦する児童



鶯宿温泉内の手すりを拭き掃除。地域貢献活動もしています

御所小学校消防操法見学会

10月28日(火)、御所小学校で消防団第2分団12人によるポンプ車操法披露と児童の放水体験が行われました。グラウンドのコンディションの都合で、恒例の消防団 vs 6年生 & 先生方の火消しリレー対決は行われませんでした。消防団が地域の中でどのような活動や役割をしているのか学ぶ機会になりました。



粟石町消防団
米澤正記副団長

火災のほとんどは気を付けていれば防げる場合があるが、自然災害はいつ起こるか分からない。色々な状況からすぐに助けに行けない場合も多いので、自分の命は自分で守る・自分たちの町は自分たちで守るという意識をもって生活して欲しい

保護者の皆さん・地域の皆さん
どうぞいらしてください
参観自由です

御所小学校 消防団第2分団
消防団操法実演見学会を開催します

日時 10月28日(火)
13:40~15:00

場所 御所小学校 校庭

地域で活躍する消防団の活動を見学することで、
防災の意識を高めましょう!

見どころ その1
消防団2分団による **ポンプ車操法実演披露**

見どころ その2 **消火対決**
消防団の皆さん VS 6年生 & 職員のパケケリレー

見どころ その3
学年代表児童による **放水体験**

【お問い合わせ先】
御所町教育委員会
電話 02-222-2200

町民の安全の担い手から

【行政区長を通じて閲覧したチラシ】

使っていない土地を活用した新産業になるか！！

ヘーゼルナッツを植えて収穫してみよう

御所小学校付近に、かつて田畑として活用していた土地が利用されずに残っている場所があります。その場所の再活用として、ヘーゼルナッツを植えてみるという企画を学校に紹介されました。

緯度や気候まで調べて考案した企画書から、もしかしたら新たな産業物になるかもしれない、地域の未来を別の視点から学ぶことができるチャンスかもしれないという判断で、学校運営協議会で協議し、実施しました。

ヘーゼルナッツとは何？から始まった学習でしたが、植樹、草刈り、収穫、学習のまとめと行いました。次年度以降も継続していきます。



ヘーゼルナッツの植樹を行いました 4月25日(金)、3・4年生が内澤啓太さんの指導のもと、上中屋敷重機駐車場の道路を挟んだ反対側の畑で作業を行いました。マスコミの方々(NHK・岩手日報・盛岡経済新聞)と学校教育課の三浦さんが取材に来て下さいました。講師の内澤さんによると、世界三大ナッツの一つとされるヘーゼルナッツの産地化を目指し、雫石町の特産品のひとつになればと栽培に挑戦しているそうです。原産地は、イタリアやトルコで、北緯40度で気候が似ているとのこと。ヘーゼルナッツの和名は「はしばみ」と呼ばれ、岩手と縁の高い作物で、日本で初めて栽培の研究(1950年代)を岩手で行われていました。この、はしばみ(ヘーゼルナッツ)を復活させ、岩手の新たな特産品の一つにしたいと思い、栽培をスタートさせたそうです。雫石町ゆうゆうファームの馬糞堆肥を1年間熟成させた肥料は、まったく臭みがなく、子ども達は苗木の下にその肥料を入れ、土と肥料を混ぜた物を苗木の周りに入れて、土をかぶせました。みんな一生懸命に取り組んでいました。



6月に植えた、ヘーゼルナッツの周りの草刈り作業



3年前に植えたヘーゼルナッツの収穫作業



【校報に掲載 区長を通じて全戸に回覧】

III 成果と課題

1 成果

- ① 学校運営協議会を開催することで、学校の取り組みに協力する体制を整えることができた。
- ② 特色ある活動に対して、学校運営協議会委員のそれぞれの立場から意見を言い合えることで、前年度の活動に改善を加えて実施することができた。
- ③ 学校運営協議会委員全員で、児童の育成につながるように特色ある取り組みなどを話し合うことで、児童は地域への愛着の意識が高まった。教育目標に関するアンケート結果から確かめることができた。

【参考資料 令和7年度教育目標に関するアンケート 児童版】

教育目標に関するアンケート(児童 一部3年生以上)	R7本校値	R6本校値
1(2) 自分の住む地域や社会をよりよくするために何かをしたいと思う	90.9%	82.5%
1(3)全 自分の住む地域のが好きである	96.6%	99.0%
1(4) 地域の行事に参加している	84.8%	81.0%

- ④ どの取り組みに対しても、学校運営協議会委員の声がけにより、地域住民の参加人数が増えて、児童との交流の機会になっている。

2 課題

- ① 全校児童が減少傾向にあり、さらに高齢化の進んでいる地域であり、学校・家庭・地域が目標を共有し、それぞれの立場の強みを活かして子どもを育成したり、地域との交流も活発化したりできる体制をつくりたい。
- ② 特色ある取り組みに対して、児童と地域住民が交流できるように、地域の方が参加しやすくなるような話し合いを続けること。

IV 次年度の計画

- ① 3回の学校運営協議会での開催を通して、学校と地域がつながりを深められるような特色ある取組を協議していく。
- ② これまで続けてきた取り組みに改善点を加えながら児童と地域が交流できる内容を話し合っていく。
- ③ 令和8年度教育目標「かしこく やさしく たくましく いとおしく」の達成に向けて、学校の方針を学校運営協議会員が共有し、それぞれの立場で実現に向けての意見を出し合い、成果を教育目標に関する評価で確かめる。

令和7年度栗石中学校コミュニティ・スクール実践報告集

栗石中学校

第1回学校運営協議会 7年6月5日(水) 14:00~16:00

- 今年度の学校経営方針及び年間計画について
- 教育課程および地域学校協働活動について
- 喫緊の課題について(部活動の地域移行について・不登校生徒・学校不適応生徒・施設環境)
- 統合50周年行事について

◎櫻小路天童(新)

○細川政哉(新) 荒塚秀則(新)

菊池由美子 細川正巳

澤口文香 櫻田七海

竹原渉 星合祐子

古舘愛(新) 井口幸太

櫻田一也 小志戸前健一(新)

☆佐藤光(新) ★古舘教之

第2回学校運営協議会 7年12月3日(水) 14:00~16:00

- 教育課程および地域学校協働活動について
(職場体験・よしゃれ)
- 喫緊の課題について
(不登校生徒・いじめ事案・ICT機器・熊対策)
- 統合50周年行事報告
- 生徒の活躍
- 学びフェスト回答依頼

第3回学校運営協議会

8年2月17日(火) 14:00~16:15

- 喫緊の学校課題の共有と意見交流
 - ・「まなびフェスト」アンケート結果考察と今後の課題
 - ・令和8年度学校経営方針の承認
 - ・委員の継続等について
 - ・学校経営等に関する意見交流 等
- 授業が進化
- コミュニケーションの大切さ
- クマ騒動
- 雪灯り終了(10年) 伝統文化(よしゃれ)継承
- 婦人会 よしゃれ振付指導 切り離す
- 地域の優しさ、協力
- 七ツ森の実践 福祉施設訪問 委員が主体
- 御明神小 休み時間の体操等 体力向上
- 学校教育目標「自立貢献」
- 熟議の開催



学校運営協議会の様子

雫石中学校 2年 地域学校協働活動 学校と地域で作上げた雫石型「防災学習」を実施

5月30日(金)と6月2日(月)、雫石中2年生が防災学習を行いました。学校と雫石町社会福祉協議会、雫石町消防団、町在住の防災士、自衛隊、防災課、教育委員会等が協働して学習プランを練り上げ、全体のコーディネートは(特非)まちサポ雫石が行いました。

5/30 社会福祉協議会と防災課の避難所体験&出前講座

「その時どうする？クロスロードゲームで考える避難行動」

この授業は雫石町社会福祉協議会が主導し、大地震が起こったときに地域の一員としてどのように行動すればよいかを、自ら判断し行動できる力をつけることを目的として行われました。災害時に起こり得る、様々なシチュエーションを想定したお題が出され、生徒は自分ならどうするかを考え判断しました。一人である時、仲間という時、それぞれの判断のポイントや気をつけなければいけないことを生徒たちは想像力を働かせて真剣に考えました。

社会福祉協議会の澤口文香^{さわぐちあやこ}主査は「この授業で学んだことを、家に帰って家族とも話し合い、家庭でのルールを確認する機会にしてほしい」と呼びかけました。

ぼくたちは、死なないために予想しながら行動しようと話し合いました



屋内テントは、プライバシーを確保する役割があるんだって！



簡易用トイレや段ボールベットを組み立て、使い方を確認



非常食（アルファ米）を作って実食！

国道清掃とH25 雫石町豪雨災害を地域の人から学ぶ

今年も5月30日(ゴミゼロの日)に国道清掃を行い、その後、御明神公民館に場所を移し、雫石町の豪雨災害で活躍した雫石町消防団前団長の上中屋敷俊彦^{かみなかやしきとしひこ}さんから当時のお話を伺いました。当時2歳だった生徒たちに、当時の記憶はありませんが、生々しい被害の写真を真剣に見入っていました。防災士の平井公康^{ひらいひろやす}さんからは、災害時の具体的な対処方法についてご講義いただきました。

6月2日(月)、生徒は自衛隊による「私たちの身近な地域における防災」のお話を聞き、一連の学習をレポートにまとめました。



みなさんも社会人になったら地域を守る消防団に入ってほしいです
(上中屋敷俊彦さん)

今日の学びを活かし、災害時はむやみに怖がらず、対処して欲しい
(平井公康さん)



ファミリーマラソン南部かしわ汁 1500 食炊き出し

5月11日(日)、雫石町総合運動公園で行われた岩手山ろくファミリーマラソンで、雫石町婦人会と雫石中学校家庭部が、ゴールした選手のために南部かしわ汁1500食を作って振舞いました。前日から、婦人会の指導のもと、大根の皮むき、イチョウ切りなどの仕込みを行い、入部したばかりの3名の部員を含めた15名が心を込めて作業にあたりました。



IBC 神山アナと今井アナも舌つづみ

雫石中学校 3年生 福祉学習「ともにくみ ともにいきる」

世代や、障がいを超えたコミュニケーション体験

雫石中学校では地域の福祉に携わる方々と連携し、意見を出し合いながら全5回にわたる福祉学習を作り上げました。障がい者福祉・高齢者福祉・保育の3つからなるこの授業には、未来を担う雫石の子どもたちへの願いが込められています。

6月30日(月)、岩手県立大学社会福祉学部 ほんまめぐみ 本間 萌先生を講師に迎え、『ふだんのくらしをしあわせに 笑顔を支える「わたし」の福祉活動』と題し、福祉全般のコミュニケーションのあり方についてご講義いただきました。

7月2日(水) ～出会い授業プロジェクト～

①障がいは壁じゃない ～けんちゃんとすてきな仲間たち～

ささかわじゅんこ 笹川 純子さん(西山在住)が特別支援学校に在籍していた長男 けんたろう 健太郎さん(享年19歳)と旧下長山小学校児童との6年間に渡る交流と「二十歳のつどい」の様子を収めたドキュメンタリー映像を用いて講義を行いました。20歳になった旧友たちが健太郎さんと交流した当時のことを語り、障がいを持つ人への理解と共生のあり方を教えてくれました。いずみさわゆうと 泉澤 佑叶さんは「障がい者と健常者、足りないところはお互いさまという言葉が響いた」と感想を述べました。



一緒に楽しめるスポーツは何かを考えて交流しました

7月9日(水) 世代間交流体験「ようこそ先輩」

②生徒たちが考えたレクリエーション交流とおもてなし実習

この活動は雫中生が地域社会の一員として、「かかわってもらふこども」から「かかわりを働きかける若い世代」へ意識を高めることを目的に、社会福祉協議会と学校が企画運営しました。町内のふれあいサロンメンバー約40名を中学校に招待し、へっちょこ団子づくり、軽スポーツ、テーブルゲームのレクリエーションで楽しんでもらえるように、生徒たちがおもてなしメニューを考えて交流しました。給食交流会ではお互いの理解を深めようと色々な質問をする生徒に、参加者は笑顔で答えていました。



2組は一緒にへっちょこ団子づくり

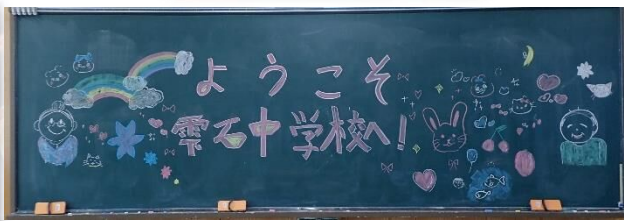
一組と四組は
ニュースポーツで交流



ハイタッチでお見送り

テーブルゲームで盛り上がる
三組とサロメンバー

和やかな給食交流



7月10日(木)、15日(火)、16日(水) こどもの成長を見守る福祉

③幼児が喜ぶ絵本の読み聞かせと保育園実習

7月10日(木)、3年生は「^{ふじさわようこ}語りの会風楽堂」藤澤陽子さんを講師に、幼児に絵本を読み聞かせする際のコツを教わりました。生徒は同じ絵本でも間の取り方や抑揚、会話表現によって、全く伝わり方が違うことに気づき、保育園実習での園児への読み聞かせに向けて練習しました。

15日(火)、16日(水)の2日間、生徒は雫石保育園・御明神保育所・西山保育園・にじいろ保育園・セツ森保育園・御所保育園に分かれ、保育園実習を行いました。生徒は園児とふれあい・家庭科の授業で作った自作の絵本等の読み聞かせを行いました。

セツ森保育園の照井園長は「メディアの時代と言われているが、人と関わりながら社会は動いている。この実習が、雫中生に人と関わることの楽しさを知るきっかけになって欲しい」と話しました。



スラスラ読むのではなく、
情景が浮かぶように伝えましょう



語り手、持ち手、せりふ役に分かれての読み聞かせに、聞き入る年長児



生徒の手づくり絵本に夢中の園児

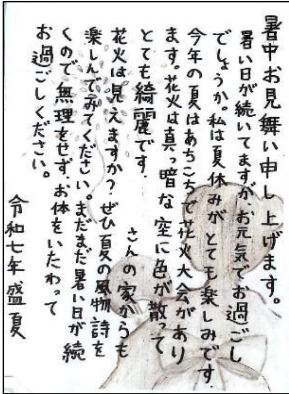
まごころおはがき暑中見舞い交流

雫石町社会福祉協議会と雫石中学校は連携し、今年も町内に住む75歳以上の一人暮らし世帯に暑中見舞いを送りました。雫石中学校では、創作意欲を高めるため生徒会がその時々々にふさわしいユニークな賞を設けています。入賞作品と地域の方からのお返事のハガキは、中学校図書室に掲示しています。

生徒会長賞

福祉地域活動 煙山賞

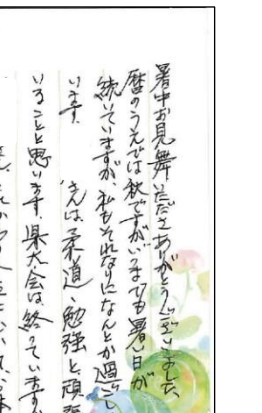
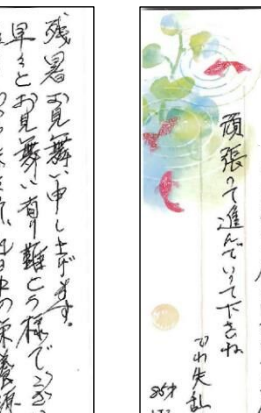
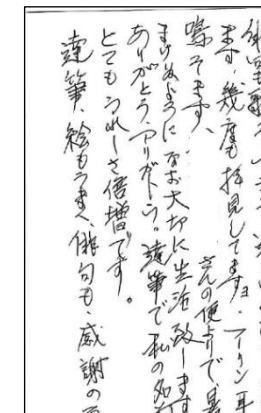
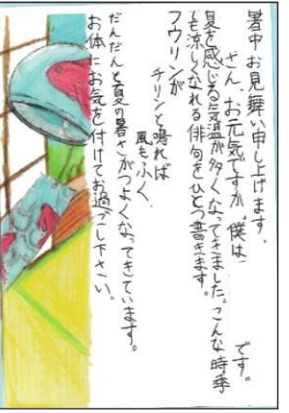
優秀賞3点



イラスト賞より

涼しいで賞より

地域の方からとどいたはがきの一例



今年度の賞

生徒会長賞1、煙山賞1、優秀賞各学年1、優良賞各学年3、イラスト賞13、かわいいで賞9、夏景色で賞8、涼しいで賞7、美味し賞11、美文字で賞8、ユニークで賞8、つかまえたくなるで賞9

地域の伝承と行事食

「本格餅つきとふるまい食」

～祈合格！お餅も力も のびるのびる！～



12月5日(金)、栗石中学校3年生は、地域の伝統文化への理解と、故郷への愛着の醸成を図るとともに、自己実現に向かっていく「節目」の気持ちを喚起させることをねらいとし餅つきを行いました。この行事は学年レクを兼ね、約40人のおうちの方も参加しました。生徒がついた餅におうちの方があんこ、きな粉、ごま、みたらし餡を絡めてふるまい、給食後にもかかわらず笑顔で餅をほおぼる生徒の姿が印象的でした。最後は生徒たちが合格をつかみ取ることを祈念した、餅まき行事を行いました。生徒らは手を伸ばして餅をつかみ取り、合格へ向けてのゲンを担ぎました。

食の匠まぐらだ櫻田シゲ子さん、きりやまけいこ桐山桂子さん、農林課、地域の方々が学校と打合せを重ね、当日は午前中から振舞い餅の餡を準備し、餅まき用の餅をつき500個をまるめ袋詰めしました



お家の方が餡を絡め、4種のお餅を振舞いました

白や杵は西山小学校や櫻田シゲ子さんからお借りして、農林課が運搬。よねざわもち米澤衛さんからは21kgのもち米を破格で提供いただきました

英語で餅は？

mochi!



餅拾いの心得

- 3つ 差をなくす
 - 4つ 気持ちがいまる
 - 5つ 合格☆
 - 6つ 欲をたけるとろくでもないことが起こる!?
- 福はみんなに分ち合おう



餅まきする上下装束かみしもしょうぞくの校長、副校長、学年PTA会長たちばな橘さん



餅も、合格もこの手でつかみ取るぞ～！！

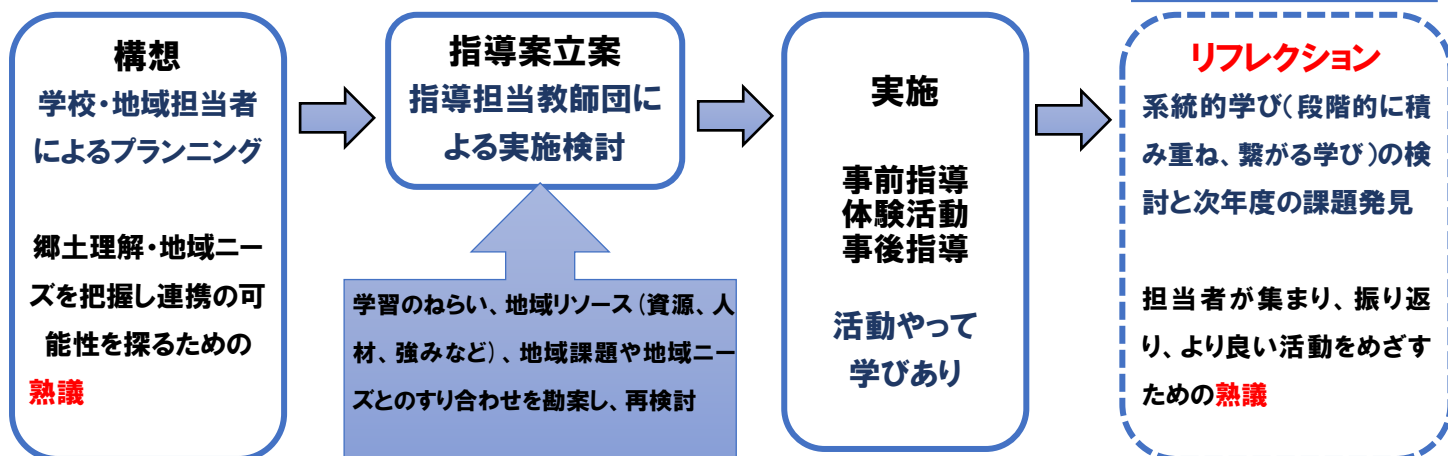
総合学習にかかわる熟議(リフレクション)開催

雫石中学校は令和4年度より、3年間の総合的な学習の単元(職場訪問・職場体験・よしゃれ祭りの参加・防災学習・まごころおはがき・福祉体験学習)を地域とともに計画段階から熟議し実施してきました。新型コロナ以前は単発の活動が多かったのですが、終息後、3年間かけて学年ごとのねらいに沿った形で総合学習の単元が生まれ、国語や家庭科なども交えた学びに再編成してきました。

1月8日(木)、雫石中学校教務主任や、各学年主任、総合学習に関わる町内の関係者(防災課、社会福祉協議会、まちサポ雫石、教育委員会)が集まり、学校と地域のニーズを伺いながら、これまでの活動の振り返りを兼ねた熟議(リフレクション)を行いました。生徒にこんな力をつけてあげたい、こういう体験をさせたいという視点を軸に、それぞれの活動の反省点や改善策を話し合いました。これまで長年行われてきた活動であっても、猛暑や、クマの出没、時代背景により続けることが難しくなったものや、生徒たちにとっての意義が分からなくなっているものは見直し、行事のスリム化も図りました。この熟議の内容を踏まえ、令和8年度の総合計画を各学年主任で立案に向け、地域の方に協力いただく部分も精選しているところです。また第3回学校運営協議会で委員に承認を諮り、来年度の総合学習に生かしていきます。

雫石中学校の総合学習

※雫石中学校及川先生の実践資料をもとに構成しています



～お知らせ～

雫石中学校 まごころおはがき年賀状展を開催します

展示場所：雫石町役場 1階ロビー
 期 間：令和8年2月12日(木)～令和8年2月20日(金)
 展示場所：雫石町中央公民館 ふれあい広場
 期 間：令和8年2月24日(火)～令和8年3月13日(金)

雫石中学校生徒会で選んだ入賞作品およそ100点と、地域の方からのお返事を展示します。

来年度以降の家庭部の活動を農振クラブと模索

雫石中家庭部は、地域活動と福祉活動を2大テーマとし、その地域での暮らしを大切に活動を展開してきました。地域活動として農林課と連携し、農業指導員から野菜の育て方を教わり収穫した野菜を、しずくしい産業まつりなどで販売する六次産業実習を行ってきました。野菜を作って食べるだけで満足せず、地域交流にまで発展させていることで、家庭部はたくましく生きる力をつけながら、地域からも広く愛されています。



1月9日(金)、令和8年度以降の農業体験実習で、雫石町農業振興青年クラブまえだひろゆき(前田紘幸会長)と家庭部が連携することが出来ないかを模索する意見交換会(熟議)を行いました。熟議には、農振クラブメンバーの他、農林課、家庭部の部活動コーチ、教育委員会からも出席し、家庭部と農振クラブ双方にとってメリットのある活動にするため、それぞれのニーズや出来ることを出し合い、建設的な話し合いになりました。産業まつりでの協働出店や、雫石産のポップ作りにかかわるなどの案が出され、今後は実現に向け調整していくことになります。

雫石中家庭部×食の匠×農林課×社会福祉協議会 ～郷土食の伝承と見守り活動～

雪んこ見守り隊の訪問先へ、手打ちそばのおすそ分け

2月28日(土)、雫石中家庭部9名は雪んこ見守り隊の訪問先のおじいさん、おばあさんに届けるために手打ちそば作りを行いました。8時半から、雫石町農業者トレーニングセンターで、地域の方々から手ほどきを受けながら二八蕎麦を打ちました。雫石産のそば粉16kgを使用し、薄力粉2:そば粉8の割合で混ぜて練りました。麺棒を使い、手際良くそばを延ばし、折たたんで切る作業を部員達は分業で行い、60食の振舞い用のそばを用意しました。午後は社会福祉協議会が主催する雪んこ見守り隊に合流し、各地区に分かれた隊員を通じて訪問先に届けました。



この活動は、食の匠伝承セミナーの受講者が、雫石中の家庭部に雫石の食文化を知って欲しいという思いから、農林課を通じてそば打ち体験をしてみないかと声をかけたのがきっかけです。そのそば打ち体験が楽しく、家庭部の活動として年越しそば作りを行いました。年末は部活動の時間をとるのが難しいという課題がありました。そこで雪んこ見守り隊の最終活動日にそばを届ける形になり、今年で3回目になります。(そばは細長い形状から、長寿を祈る縁起物でもあります)



顧問のおいかわみゆき及川美幸教諭は「古き良き時代の食文化を通して、地域にありがとうを伝えられる活動。中学生の世代が打ったそばということも意味がある。生徒たちにとって体で覚える財産になる。将来、食の匠になって地域の味を伝承して欲しい」と話しました。



パッケージも家庭部が考案

そば打ち、振舞いに関わった地域の方々

◎そば打ち指導

櫻田シゲ子さん（岩手県食の匠）、 桐山桂子さん、笹川純子さん、
農業者トレーニングセンター西村さん、
農林課、家庭部 OG 他

◎雪んこ見守り隊

社会福祉協議会、中学生・高校生・地域ボランティア

※(有)雫石ソバ産業のそば粉を使用

去年もいただいたけど、
とっても美味しいおそば
だったよ♪



私たちが作ったそばです。本
日中に召し上がってくださ
いね！



III 成果と課題

【成果】

- ・ 雫石町教育委員会と学校運営協議会委員の皆様のご協力で、年3回の雫石中学校学校運営協議会を開催し、学校運営に関するご助言をいただいた。3回目は2月17日（火）の予定。
- ・ 令和5年度に地域関係者の皆様と教職員の思いを共有する熟議（1年ふるさと学習、2年職場体験学習）を開催し、教育課程を見直した。令和6年度から改善を加えた「総合的な学習の時間」の学習内容を進めている。令和7年度は、2年生が「学校と地域で作上げた雫石型『防災教育』」を実施した。また、3年生は福祉学習を推進。「世代や、障がいを越えたコミュニケーション体験」を実施した。さらに、保育園の協力を得て「読み聞かせと保育実習」を行った。
- ・ 令和6年度の実践をもとに、さらに改善した内容で実践できた。今年度も地域関係者の理解と協力を得ながら熟議を重ね、生徒の資質・能力の育成を見据え授業を展開できた。

【課題】

- ・ 町からの補助金の効果的な使用について引き続き検討すること。
- ・ 地域学校協働活動を進める上で、生徒と直接かかわる教職員が学校運営協議会委員等と交流したり、親睦を図ったりすること。

IV 次年度の計画

- ・ 現在行っている地域学校協働活動の教育的価値を確認するとともに、継続・発展していくように努める。
- ・ 今年度の「総合的な学習の時間」の計画や実践から改善点を見出し、来年度の学習につなげる。
生徒の課題点や地域のニーズ等から学習内容を考え、学びへとつなげていく。



(残雪の駒ヶ岳)